

認知症サポーター養成講座を実施しました

12月8日（木）、第1学年の生徒を対象にした認知症サポーター養成講座が行われました。この講座は厚生労働省が推進している事業の1つで、認知症に対する正しい知識と理解をもち、地域で認知症の人やその家族に対してできる範囲で手助けする「認知症サポーター」を全国で養成し、認知症高齢者等にやさしい地域づくりに取り組むことを目指しています。今回は、渋谷区ケアコミュニティ・原宿の丘 地域包括支援センターに勤務されている認知症地域支援推進員 村瀬 真弓さんを講師に招き、パワーポイントのスライドや動画を交えながら学習しました。様々な原因によって脳の細胞が死んでしまったり働きが悪くなったりするため、障害が起こり、生活する上で支障が出ている状態のことを「認知症」といいます。認知症の原因となる病気の中には早期に治療すれば治せるものもあります。講座を終えて、第1学年学級委員会委員長の渡邊 純菜さんが1年生を代表してお礼の言葉を述べました。認知症は誰でもなる可能性のある病気です。他人事ではなく自分たちの問題だと考え、自分たちに何ができるか考えてみましょう。



プログラミングの授業を行いました

12月14日（水）、2年生の生徒は技術の授業の一環として、タブレットを活用したプログラミング学習に取り組みました。学校教育においてプログラミング教育やICT導入、STEAM教育などのデジタル化が推進されている昨今の状況を鑑み、渋谷区は株式会社MIXIと提携し、プログラミングの知見を活用した学校教育支援に取り組んでいます。MIXIは2019年6月より、「KidsVALLEY 未来の学びプロジェクト」に参加するとともに、渋谷区部活動や渋谷区の小・中学校への支援を実施するなど、次世代のIT人材を渋谷から輩出する土台づくりを行っています。この日も、MIXIから講師を招き、コマンドを打ち込むことにより画面上の物体を動かす体験授業を実施しました。このようなプログラミングに興味をもった生徒は、今後も学びを継続させていきましょう。



修学旅行を意識して 2年生「鎌倉校外学習」



- 12月13日（火）、2年生の生徒は校外学習で鎌倉を訪れました。その目的は次の4点でした。
- ① 伝統文化の学習の一環として、鎌倉を訪ね、見聞を深める。
 - ② 班で課題学習に取り組み、発表活動を通して情報活用力や表現力を高める。
 - ③ 班活動を通して、ルールを守り、目標に向かって努力する姿勢を養う。
 - ④ 修学旅行に向けて、交通機関の利用等を通して、社会的スキルやマナー等の規範意識を高める。

鎌倉校外学習に向けて、長い時間をかけて事前学習に取り組み、目的意識を明確にもつことができました。当日は電車の遅延等で朝の集合時間に若干遅れてしまうこともありましたが、不測の事態があっても自分たちで考え、計画に従って順調に行動することができました。帰りは時間内にすべての班が集合し、3年修学旅行に向けて良い経験ができました。事前学習で積み重ねたことも含めて、みんなが真剣に取り組むことができたからこそ得られたこの財産を、次につなげていきましょう。